

COEプログラム公開講座

本学のCOEプログラム「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」は、具体的には以下の4つ事業を柱として展開しています。

1. データベースの作成

日本人が関わった漢字漢文文献の収集や所在調査をし、国内はもちろん世界中のデータを集め、データベースを構築

2. 研究ネットワークづくり

日本漢文学研究をしている研究者の世界的な交流ネットワークの構築

3. 研究者や専門家の養成

日本漢文学研究者の育成と、漢字漢文文献の調査整理に当たる専門技能者の養成

4. 漢文教育の研究と振興

より充実した漢文教育のためのテキストの開発

今回は、研究者や専門家を育成するために開講している公開講座について、拠点リーダーの高山教授と実際に講座を受けている受講生に話を聞きました。



21世紀COEプログラムとは…

平成14年度から文部科学省が始めた特別事業。「我が国の大学に世界最高水準の研究教育拠点を学問分野別に形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るため、重点的な支援を行い、もって、国際競争力のある個性輝く大学作りを推進する」ことを目的としています。本学の「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」は平成16年度に採択されました。



高山節也 教授

なお、いずれも受講生受け入れ可能であるので、興味ある方は申し込まれたい。

前期においては、①「漢字表記論」②「江戸の版本1」③「漢籍書誌学」④「古文書解読」⑤「漢字の文化史」⑥「江戸の漢詩」⑦「和刻本漢籍について」⑧「近世書籍文化の変遷」⑨「和刻本漢籍準漢籍の書誌と情報」のテーマで実施され、後期は、①「漢字表記論2」②「江戸の版本2」③「漢籍書誌学」④「古文書解読」⑤「漢字の文化史」⑥「江戸の漢詩」⑦「日本漢学者と漢籍の蔵書」⑧「漢文小説『夜窓鬼談』の世界」⑨「中国医学書の特徴と変遷」のテーマで開講される。

本学COEプログラムにおいては、その活動の一環として、専門技能者養成の講座を、大学院生を中心とし、さらに一般受講者をも含めた形で開講することを位置づけている。これはCOE本来の人材育成の目標に関連して、本学COEプログラムにおける漢文文献の扱いにかかわる書誌学的技能者の育成を目標とする活動である。そのために具体的な書誌学技能そのものとそれに直接かかわる技能関連講座、あるいは漢籍や日本漢文の周辺を固めるより広範な教養的講座を配置して、前期・後期にそれぞれ①集中講義2種②大学院講座との相乗り講義2種③各週1回通年講座2種④週1回開講各3回の小講座3種を設けて、斯界の著名な研究者を招聘して実施している。

受講生の声

「江戸の漢詩」(講師:石川忠久前学長)

浅岡 清明 さん

この講座には、少なくとも二つの特色があると思います。一つは、申し上げるまでもなく講師の石川忠久先生の漢詩への並々ならぬ情熱と該博・深遠な知見に裏打ちされた解説・鑑賞の豊かさ・奥深さにあります。私は毎回の授業でこのことに驚嘆し、この講座を受講できることの幸運をかみしめています。

二つ目は、この講座の授業の工夫をこらした進め方・システムにあります。石川先生のご指示に加え、藤田様、田中様たちスタッフの皆さまのご尽力によって周到に準備・支援されるこの講座の授業のシステムは、不慣れな受講者に学習への意欲と安心を双つながらにもたらしてくれます。原文(白文)資料の事前

配布は受講者に自習・予習を促し、授業時に配布される句読点・返り点付きの訓読資料は受講者の予習の点検に供されるときも、石川先生による訓読の際に送り仮名等を記入しながら訓読文を完成できるよう配慮されています。受講者自身の手元で完成した訓読文は、「一首ごと」に先生の先導により、受講者全員が声を合わせて朗誦(ろうじゆ)します。私はいまだ、この用意周到のシステムを十分には生かし切れていませんが、訓読文を朗誦するたびに、あたかも日本人による漢詩の受容と展開の生きた現場に立ち会っているような深い感銘を覚えるのです。



受講生の声

「江戸の版本」(講師:中野三敏COE客員研究員)

大学院文学研究科博士前期課程中国学専攻1年 小野澤 路子 さん

暑さも残る9月最終週に行われた中野三敏先生の集中講座は、講義に実習も加わり内容の濃いものであった。

各自持参した版本を、一度ほぐし、また糸で綴じて再生する実習では、版本の構造を学習するのが主な目的であった。しかし、終えてみるとこの作業が精神面に及ぼした影響の大きさに驚かされる。恐る恐る触れるものだとばかり思っていた版本が、いつ

の間にか身近なものに見えてきたのである。

版本そして江戸の文化を、愛情をもって研究なさる先生のお話からは、江戸の人の生き生きとした姿が目につく。版本を手に載せて先生がおっしゃる「江戸時代が向こうから来ている」という言葉が、印象的であった。

集中講義において、再びご指導いただき年末が待ち遠しい。

